

北海道函館市における 祝言のあいさつ

小野米一

○はじめに

1. 対象地の地理的環境：北海道の南西部、渡島地方の東南部に位置する。西端の函館山(334m)を要害の地とし、北東に向かって扇状に広がる地形をなす。津軽海峡に突出している。
2. 対象地の社会的経済的環境：北海道南部の中心地(港町)として、江戸時代から繁栄を続けてきた。現在北海道では第三の都市。
3. 生業：水産物の貿易港、北洋漁業の基地として発達したが、現在は就業人口の7割以上が第三次産業。造船・機械・食料品製造の工場や倉庫が多い。夜景や街並みの景観、重要文化財の建物など、観光資源も豊富。
4. 交通：本州への玄関口。JR函館本線や青函線、国道5号線など、交通の要所。各地へのフェリー、バスなど多数。航空路も東京5便、名古屋2便のほか、仙台、札幌などへの便がある。
5. 人口：約32万人。
6. 調査年月日：1990年7月31日
7. 方言話者：①木村政一 大正7年8月18日生(72歳)
②山本武雄 大正6年10月16日生(73歳)
8. 調査者、調査場所：小野米一、函館市谷地頭町内会館
9. 調査方法：質問法によって、お二人ごいっしょにそれぞれご教示をいただいた。表現の品性、新古、情感などについては、一切触れることができなかった。

I. 結納授受のあいさつ

1. 仲人が新婦の家に結納を持参した時、座敷で、その家の主人(新婦の父親)に向かって、どのようなあいさつをしますか。

① ドーモ ホンジツワ オメデトーゴザイマス。ホンジツワ タイ
ヘン オヒガラモ ヨイノデ ユイノーノ シナモノオ ジサン
イタシマシタ。ゴジュノーノ ホド オネガイイタシマス。どうも
本日はおめでとうございます。本日は大変お日柄もよいので、結
納の品物を持参いたしました。ご受納のほどお願いいたします。

2. その家の主人（新婦の父親）は、仲人に応えて、どのようなあいさつをしますか。

⑥ ホンジツ ゴエンロ ゴクロー サマデゴザイマシタ。 ユイノー ノシナ タシカニ オアズカリイタシマシタ。 ドーカ イクヒサシク ヨロシク オネガイモシアゲマス。本日はご遠路ご苦労さまでございました。結納の品、確かにお預かりいたしました。どうか、幾久しくよろしくお願い申しあげます。

3. その時の新婦のあいさつがあれば記してください。

横に座っている娘は、ただ黙って座っているだけで、お父さんのあいさつに合わせてお辞儀をする。ことばは特に言わない。

II. 嫁をもらう家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁をもらうことが決まった家の人に道で出会って、近所の人たちはどのようなお祝いのあいさつをしますか。

⑥ コノタビワ ゴエンダン トトノイマシテ ホントニ オメデト ゴザイマス。 イカッタデス ネー。この度はご縁談が整いまして、ほんとおめでとうございます。よかったですねえ。

2. 嫁をもらう家の方は、そのあいさつに応えて、どのようなあいさつをしますか。

① ドーモ アリガト ゴザイマシタ。どうもありがとうございました。

② モラウコトニ ナリマシタンデ ヨロシク。(嫁さんを)もらうことになりましたので、よろしく。<相手の人が、嫁になる人をよく知っているような場合>

III. 嫁に出すことが決まった家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁に出すことが決まった家の人に、近所の人たちはどのようなあいさつをしますか。

① コノタビワ オジョーサンワ オヨメサンニ イカレルソーデ マコトニ オメデト ゴザイマス。 ココロカラ オヨロコビモ シアゲマス。この度はお嬢さんはお嫁さんに行かれるそうで、まことにおめでとうございます。心からおよろこび申しあげます。

2. 嫁に出す家の方は、そのあいさつに応えて、どのようなあいさつをしますか。

④ アリガトーゴザイマス。フツツカナ ムスメナデスガ スエナ
ガク ゴコーギノホドオ オネガイモーシアゲマス。ありがとう
ございます。ふつつかな娘なのですが、末永くご交誼のほどをお
願い申しあげます。

IV. 結婚式当日のあいさつ

結婚式当日、結婚式に出席した人たちは（親戚以外）、どのようなあいさ
つをしますか。

1. 新郎の父親にどのようにあいさつをしますか。

⑥ コノタビワ オメデトーゴザイマス。スエナガク ゴハンエーオ
オイノリモーシアゲマス。この度はおめでとうございます。末
永くご繁栄をお祈り申しあげます。

1-2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

⑧ キョーワ タイヘン ゴタポーノナカオ ムスコノ ケッコンシ
キニ オサンカクダサイマシテ マコトニ アリガトーゴザイマ
ス。ムスコフーフモ コレカラ アタラシク カマドオモッテ
イキマスノデ ヒトツ コンゴトモ ヨロシク オネガイオ イ
タシマス。今日は大変ご多忙の中を、息子の結婚式にご参加くだ
さいまして、まことにありがとうございます。息子夫婦もこれか
ら新しく家庭を持っていきますので、一つ今後ともよろしくお願
いをいたします。

2. 新婦の父親にどのようなあいさつをしますか。

⑨ ホンジツ ドーモ オメデトーゴザイマス。オジョーサン コノ
タビ ケッコンシキ ホントニ ココロカラ オヨロコビオ モ
ーシアゲマス。ゴリョーシントシテワ シジョーニ ココロサビ
シー コトデショーケレドモ オジョーサンノ ショーライノ
タメデス。ドーゾ シトツ ヨロシク コレカラモ オタガイニ
キョーリョクシテ ムスメサンダチフーフモ シアワセナ カ
テーオ キズクヨーニ ココロカラ オイノリモーシアゲマス。
オメデトーゴザイマス。本日はどうもおめでとうございます。お
嬢さんのこの度の結婚式、ほんとに心からおよろこびを申しあげ
ます。ご両親としては非常に心さびしいことでしょうけれども、
お嬢さんの将来のためです。どうぞ一つよろしくこれからもお互
いに協力して娘さんたち夫婦も幸せな家庭を築くように、心から

お祈り申し上げます。おめでとうございます。

2-2. 父親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

⑥ <遠く離れた所へ出す場合> ゴトーチノ セーカツノ ヨーシキニ ツイテワ マツタクノ ミチノ セカイニ トビコム ヨーナムス メノ シンキョーデ ゴザイマスノデ ドーカ ゴトーチノ ナカマニ イレテ イタダイテ ゴシドート ゴコーギオ オネガイモーシアゲマス。ご当地の生活の様式については、まったくの未知の世界に飛び込むような娘の心境でございますので、どうかご当地の仲間に入れていただいて、ご指導とご交誼をお願い申し上げます。

⑥ <函館市内の場合> ホンジツワ オイソガシートコロ オコシイ タダキマシテ マコトニ アリガトーゴザイマシタ。 シンローシ ンプワ マダ セーカツケーケンモ トボシク ミジクナモノ デ ゴザイマスガ ドーカ イクヒサシク ゴコーギ ゴベント ツノホドオ ココロカラ オネガイモーシアゲマス。 ミナサマノ ゴケンコート ゴタコーオ オイノリモーシアゲマス。本日はお忙しいところ、お越しいただきまして、まことにありがとうございました。新郎新婦はまだ生活経験も乏しく未熟な者でございますが、どうか幾久しくご交誼ご鞭撻のほどを、心からお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

V. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る時のあいさつ

結婚式後、姑が新婦を連れて、近所の家にあいさつをして回るという習慣は、この付近にはない、とのことである。結婚式場ですべて終わり、せいぜい一部の親戚に紹介するぐらいですませるという。

VI. 嫁を迎えた家の人へのあいさつ

1. 10日ほど前に、長男(29歳)に嫁をもらった60歳代の父親へ、結婚式に招かれた50歳代の女性が、昼下がりの路上で、どのようなお祝いのあいさつをしますか。

2. 父親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

※このような場面では、息子の父親のほうからまず声をかけるのが礼儀である。そこで、たとえば次の④→⑤のようなやりとりになる。

④ コナイダワ タイヘン ゴタポーナナカ チョーナンノ ケッコ ンシキニ ゴサンレツイタダキマシテ マコトニ アリガトーゴ

ザイマシタ。ソノゴ ムスコモ シンコンリョコーニ イッテ
 タマタマ ニサンニチマエニ カエッテマイリマシタ。ハコダテ
 シナイノ ドコソコデ セーカツオ シテオリマスノデ ヒトツ
 コレカラモ ムコーノホーエ イカレマシタラ オタチヨリイ
 タダキマシテ ヒトツ ヨロシク ジンセーノ ケーケンノ オ
 ーイ ミナサマカラ ゴシドーノホドオ オネガイイタシマス。
 コナイダワ アリガトーゴザイマシタ。こないだは大変ご多忙な
 中を、長男の結婚式にご参列いただきまして、まことにありがと
 うございました。その後、息子も新婚旅行に行つてつい二、三日
 前に帰つてまいりました。函館市内のどこそで生活をしており
 ますので、ひとつこれからも、向こうのほうへ行かれましたらお
 立ち寄りいただきまして、ひとつよろしく人生の経験の多い皆様
 から、ご指導のほどをお願いいたします。こないだはありがと
 うございました。

- ⑥ センジツワ オメデトーゴザイマシタ。セーダイナ ヒローエン
 ニ シタシク オマネキイタダキマシテ アツク オレーオ モ
 ーシアゲマス。先日はおめでとうございました。盛大な披露宴に
 親しくお招きいただきまして、厚くお礼を申し上げます。

VII. 結婚式後の仲人へのあいさつ

仲人を引き受けるような人は、要職にあつて忙しい人であることが多い。
 そこで、新郎新婦と両方の両親が、時間の打ち合わせをしたうえでいっしょ
 にお礼に出かけていく。お礼の金額も両家で話しあつて、一つの袋に入れ
 て、そろつて仲人さんにあいさつをして渡す。新郎新婦が函館市内でなく離
 れた土地で所帯を持つ場合には、親だけが行く。仲人さんは、簡単な茶菓ま
 たはお酒のもてなしをする。

1. 結婚式後、仲人の所へ新郎新婦（あるいは両親）がお礼に行った時、
 どのようなあいさつをしますか。

- ① <新郎新婦をあまりよく知らない、偉い人の仲人の場合> コノタ
 ビワ タイヘン ゴタポーノナカオ ムスコタチブーフノ ケッ
 コンシキノタメニ ゴバイシャクニン オネガイオ イタシマシ
 テ マコトニ モーシワケナク マタ ココロカラ オレーオ
 モーシアゲマス。オカゲサマデ バンタン トドコーリナク シ
 ユーリョーイタシマシタコトモ コレモ ミナ ゴバイシャクニ

ンサマノ ゴハイリョノ タマモノト フカク ココロカラ カ
 ンシャオ モーシアゲマス。キョーワ ソノヨーナシダイデ キ
 モチト イタシマシテ ワズカデワ ゴザイマスガ オレーオ
 トユーコトデ サンジョーイタシマシタノデ コンゴトモニ ヨ
 ロシク オネガイオ イタシマス。この度は大変ご多忙の中を、
 息子たち夫婦の結婚式のためにご媒酌人をお願いをいたしまし
 て、まことに申しわけなく、また心からお礼を申しあげます。お
 蔭様で、万端滞りなく終了いたしましたことも、これもみなご媒
 酌人様のご配慮の賜物と、深く心から感謝を申しあげます。今日
 はそのような次第で、気持といたしまして、わずかではございま
 すが、お礼をとということで参上いたしましたので、今後ともによ
 ろしくお願いをいたします。

②<新郎新婦をよく知っている、本当の文字どおりの仲人の場合>
 コノタビワ ナカムラサンノ オカゲデ トモニ ムスコ マタ
 ムコーノ ムスメサンオ ヨク シッテオラレル カタカラ
 オナコードサンオ イタダキマシテ ホントーニ マコトニ コ
 コロカラ オレーオ モーシアゲマス。コレカラモ オナコード
 サンガ フタリノ シアワセノタメニ イッシュョーケンメーナッ
 テ フタリオ アワセテ イタダイタコトニ タイシテ ココロ
 カラ カンシャオ モーシアゲマシテ マタ ムスコタチフーフ
 モ オナコードサンノ ココロニ ムクイルヨーニ コンゴ ト
 リョクスルト オモイマス。ドーモ コノタビワ アリガトーゴ
 ザイマシタ。この度は、中村さんのおかげで、ともに息子また向
 こうの娘さんをよく知っておられる方からお仲人さんをしていた
 だきまして、ほんとうに、まことに、心からお礼を申しあげま
 す。これからも、お仲人さんが二人の幸せのために、一生懸命に
 なって二人を会わせていただいたことに対して、心から感謝を申
 しあげまして、また息子たち夫婦もお仲人さんの心に報いるよう
 に今後努力すると思えます。どうもこの度はありがとうございました。

2. 仲人は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

②ナニモ コノヨーニ シテイタダカナクテモ。なにもこのように
 ↑していただくなくても。(あるいは)

○ワザワザ コノヨーナコトオ シテイタダカナクテモ ケッコ

一デス。わざわざこのようなことをしていただくなくてもけっこうです。(というようなことを言って、茶菓やお酒を出す。)

○ワスカナ キモチダケノ モノデスケド マー ヒトツ オオサ↑メネガイマス。わずかな気持ちだけのものですけど、まあひとつお↓納め願います。

○ソレジャー セッカクデスノデ。それでは、せっかくです。(というようなことになる。)

⑥コノタビワ オソロイデ オコシイタダキマシテ アリガトーゴザイマシタ。イタラヌ ナカウドデ ゴザイマシタガ セーイッパイ ツトメサセテイタダキマシタ。オレーノシナ タイヘン ココログルシク ソンジマスガ ハイジュサセテイタダキマス。ホンジツワ ドーモ アリガトーゴザイマシタ。この度はおそろいでお越しいただきまして、ありがとうございました。至らぬ仲人でしたが、精一杯勤めさせていただきました。お礼の品、大変心苦しく存じますが、拝受させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

VIII. 嫁のはじめての里帰りのあいさつ

1. 嫁がはじめて里帰りする時、嫁ぎ先の親に、どのようなあいさつをしますか。

2. 両親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

②<親>マー イッテオイデ。まあ行っておいで。↔○<嫁>ソレジャー オトーサン オカーサン ヒトツ オネガイシマス。チヨット イッテマイリマス。それではお父さん、お母さん、ひとつお願いします。ちょっと行ってまいります。

※こういう面では、函館はごく簡単で、きびしくない。北海道は新開地で、各方面からの文化的なものが北海道へ来て入り交じった。女性が強く、本州などとは習慣が違う、と説明する。

娘が嫁さんになって家を出ていく時、「ナガイコト オセワニ ナリマシタ。センポーニ マイリマシテモ セーイッパイ ドリョクシテ シアワセオ キズク ツモリデス。ドーカ ヨロシク オネガイシマス。長いことお世話になりました。先方にまいります、精一杯努力して、幸せを築くつもりです。どうかよろしくお願いします。」などと言う。

(北海道大学)